



2009.9

No. 188

MONTHLY

# れんごう

北海道

<http://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

毎月5日発行 定価1部10円(組合員の購読料は組合費を含む)  
1996年3月8日第三種郵便物許可

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会

発行責任者 村田 仁

〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろビル6F TEL(011)210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

## 山動き、政権交代なる

### 第45回衆議院選挙 民主党大勝で終える

第45回衆議院選挙は、8月30日に投開票が行われ、民主党が308議席を獲得して単独過半数を大きく上回り、政権交代が実現しました。

北海道でも民主党は、12小選挙区のうち11選挙区で勝利、比例区も4議席を獲得し、自民党(小選挙区1、比例区2)に圧勝しました。

この歴史的勝利により、鳩山民主党代表(北海道9区)の首相就任が確実となり、北海道から初の総理大臣が誕生いたします。

この間、政治と政策の転換で「国民生活と雇用が第一の政治」を実現するため、組合員・家族の皆さまのご協力に心よりお礼を申し上げます。



北海道の地域最低賃金が決まりました。

時間額 **678**円

(11円引き上げ)

10月10日発効となります。

# 民主党 道内当選者一覧

## 小選挙区



横路 孝弘  
よこみち たかひろ

1区・10期目



三井 辨雄  
みつい わきお

2区・4期目



荒井 聡  
あらい さとし

3区・5期目



鉢呂 吉雄  
はちろ よしお

4区・7期目



小林 千代美  
こばやし ちよみ

5区・2期目



佐々木 隆博  
ささき たかひろ

6区・2期目



逢坂 誠二  
おおさか せいじ

8区・2期目



鳩山 由紀夫  
はとやま ゆきお

9区・8期目



小平 忠正  
こだいら ただまさ

10区・7期目



石川 知裕  
いしかわ ともひろ

11区・2期目



松木 謙公  
まつき けんこう

12区・3期目

## 比例代表



仲野 博子  
なかの ひろこ

3期目



山崎 摩耶  
やまざき まや

1期目



山岡 達丸  
やまおか たつまる

1期目



工藤 仁美  
くどう ひとみ

1期目

# 第45回衆議院選挙結果 (道内分)

## 小選挙区

	政党名	候補者名	得票数		政党名	候補者名	得票数
1区	民主党	横路 孝弘	183,216	7区	民主党	仲野 博子	99,236
	自民党	長谷川 岳	124,343		自民党	伊藤 良孝	100,150
	共産党	松井 秀明	25,803		幸福実現党	金成 幸子	2,131
	幸福実現党	高元 和枝	4,083	8区	民主党	逢坂 誠二	171,114
2区	民主党	三井 辨雄	165,267		自民党	福島啓史郎	58,046
	自民党	吉川 貴盛	93,870		無所属	佐藤 健治	40,090
	共産党	岡 千陽	27,580		幸福実現党	西野 晃	4,075
	社民党	本田 由美	14,311	9区	民主党	鳩山由紀夫	201,461
	幸福実現党	山本 志美	3,782		自民党	川畑 悟	79,116
3区	民主党	荒井 聰	186,081		共産党	佐藤 昭子	20,286
	自民党	石崎 岳	112,844	幸福実現党	里村 英一	2,735	
	幸福実現党	森山 佳則	6,723	10区	民主党	小平 忠正	159,473
4区	民主党	鉢呂 吉雄	149,697		自民党	飯島 夕雁	89,287
	自民党	宮本 融	75,029		幸福実現党	大林 誠	6,114
	幸福実現党	鶴見 俊蔵	3,923	11区	民主党	石川 知裕	118,655
5区	民主党	小林千代美	182,952		自民党	中川 昭一	89,818
	自民党	町村 信孝	151,448		共産党	渡辺 紫	11,140
	幸福実現党	畑野 泰紀	5,380	12区	民主党	松木 謙公	127,166
6区	民主党	佐々木隆博	175,879		自民党	武部 勤	112,690
	自民党	今津 寛	119,964		幸福実現党	笠松 長麿	2,763
	共産党	荻生 和敏	17,884				
	幸福実現党	武田 慎一	3,554				

## 比例区

政党名	得票数	議席数	備考
民主党	1,348,318	4	仲野 博子・山崎 摩耶・山岡 達丸・工藤 仁美
自民党	805,895	2	武部 勤・町村 信孝
新党大地	433,122	1	鈴木 宗男
公明党	354,886	1	稲津 久
共産党	341,345		
社民党	113,562		
幸福実現党	20,276		
新党本質	7,399		

## 第45回衆議院選挙を終えて

- 歴史に残る闘いに奮闘された連合組合員に感謝 -

連合北海道事務局長 村田 仁

第45回衆議院選挙は30日に投開票が行われ、民主党が単独過半数を上回る308議席に大躍進する圧勝で、政権交代を決めた。北海道においても民主党は、政権交代への期待を追い風に、11の小選挙区で圧勝した。比例代表でも4議席を獲得、比例復活を含めて小選挙区候補が全員当選、改選前から4議席増やした。民主党との選挙協力で支援した新党大地は比例代表で1議席を確保。他方、自民党は、比例復活で2議席、公明党は比例代表で1議席となり、全国的にも大幅に議席を減らした。

全道で「政権交代」をめざして、汗をかき、支持拡大に奮闘された構成産別・単組、地協・地区連合に結集する組合員の皆さんのこれまでの取り組みに心からのねぎらいと感謝を申し上げます。

連合は、市場原理主義を軸とする世界経済の「破局」という歴史的な転換点にあって、「むき出しの競争社会では生きていけない」、日本の政治・経済・社会は、いまこそ、「これまでの価値観を転換すべきである」と、「政治と政策の転換」を掲げて、全組織挙げてパラダイム転換の運動を展開してきた。そして民主党は「国民の生活が第一」を掲げ、劇的な与野党逆転で、自民党政治に終止符を打ち、日本の憲政史上で初の政権交代、歴史の新たな扉を開いた。

効率と競争を最優先に、働くルールを壊し、雇用と国民生

活をないがしろにしてきた小泉構造改革、それを引き継ぎ、政権を投げ出した安倍・福田の両政権、解散より景気対策だと政権にしがみつき国民の税金を無駄に遣い一般市民の生活を顧みない麻生政権に対して、国民の怒りが、投票行動に駆り立てたものといえる。

いま、政治に求められるのは、第一に国民の信頼を取り戻すことだ。民主党は、今回の選挙結果を謙虚に受け止めつつ、同時に、政権を担う与党としての重い責任を負うことを真摯にふまえ、国民の負託に応える政治、そして、数の力におごることなく国会運営に臨むことを強く期待する。あわせて、今回のマニフェストで掲げた政策について、着実に実現させていくなど、国民との約束を果たしてもらいたい。

その上で、民主党を中心とする新しい政権は、官僚主導の中央集権から地方が主体の地方分権型社会への転換、格差を是正し、互いの尊厳を保つ、人が人らしく生活する福祉社会づくりに邁進すべきである。

勤労者と国民を代表する社会の公器たる連合は、これまで主張してきたことの実現を国民から負託されたという重みを自覚して、民主党とより一層の連携を深めつつ、国民の合意形成に基づく社会の改革、まじめに働くものが報われる社会の実現に、労働運動の立場からの役割をこれまで以上に果たしていかなければならない。

## 政権交代をめざした第45回総選挙を終えて

日本労働組合総連合会会長 高木 剛

8月30日、第45回総選挙の投開票が行われ、永年の悲願であった政権交代が実現した。

暑い夏の選挙であったが、全国各地で奮闘された構成組織、地方連合会、地域協議会の皆さんの寝食を忘れたご苦労に心から感謝申し上げます。

思い起こせば4年前の9月11日、郵政選挙と言われた先回の総選挙で惨敗を喫して以来、小泉、安倍、福田、麻生と4代続いた自公政権のもと、2年前の参議院選挙で与野党逆転を果たしたものの、再三にわたる衆議院における2/3以上の議席数による再議決など、自公政権の強引な政権運営のもと、苦難の4年間を過ごしてきた。

この間、各種の格差の拡大や、雇用状況の深刻化、社会保障のセーフティネット機能の劣化などがもたらした国民の不安、不信の高まりが、自公政権の退場を願う強い流れにつながった。

この流れの中で、民主党、社民党、国民新党の三党は、政権交代を訴え、「国民の生活が第一」の政策の基本軸への変革を訴えつつ選挙戦を闘い、我々連合も「政権交代の夏」を合い言葉に懸命の活動を展開してきた。そして、その結果、連合結成以来20年、諸先輩の連合結成時の政権交代可能な政治体制の構築という強い願いが、ここに実現した。心から、その意義をかみしめたい。

この総選挙の勝利を謙虚に受け止め、国民の、国民による、

国民のための政治という、政治の原点を忘れることなく、国民に約束したマニフェストの内容を着実に実現していくこと、この点こそ、民主党を中心とする政権の最大の責任である。

連合も、この選挙の結果におごることなく、また、連合の政策の基本的スタンスをふまえつつ、政権交代に大きく係わってきた責任を自覚していかなければならない。

連合は、この間、STOP! THE格差社会キャンペーンを展開する中で前回の参議院選挙、そして今回の衆議院選挙を闘って来たが、その初心を忘れず、国民の目線で節度をもって、民主党を中心とする政権に対応していく必要がある。

時あたかも、日本の雇用動向は戦後最悪の状態にあり、また、ディーセントワークやワーク・ライフ・バランスの追求も急務である。雇用の安定こそ社会の安心・安全の最大のポイントであり、着実な景気回復も図っていかなければならない。

また、戦い利あらず、大健闘したにも係わらず敗れた選挙区もあるが、その奮闘ぶりは大きく評価されて然るべきであり、次回の再チャレンジを期そう。

猛暑の中、総力を挙げて闘いを進めてきた構成組織、地方連合会、地域協議会の皆さん、そして打って一丸となった組合員の皆さんの力強い運動に対し、衷心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。